

# 1型糖尿病[IDDM]お役立ちマニュアルのご案内

## 特定非営利活動法人日本 IDDM ネットワークの本

# 1型糖尿病 お役立ちマニュアル



1型糖尿病の患者・家族に必要な「情報」を患者・家族の視点からお届けします。

### PART 1

#### 初級編

1型糖尿病とその治療  
心の問題  
学校生活  
低血糖を減らせ! 大作戦  
食事とグリセミックインデックス  
患者・家族の思い  
社会保障制度  
患者・家族会の役割  
専門の医療機関



1冊につき800円のご寄付をお願いいたします。

### PART 2

#### 中級編

1型糖尿病の基礎知識  
膵島移植の現状と将来  
妊娠と出産  
1型糖尿病の正しい食事療法  
歯周病とその予防  
患者への心理的・精神的サポート  
家族の思いとのかかわり方  
学校における対応  
自動車運転免許制度の改正点と対応  
一人暮らしの注意点  
就職～公正な採用に向けて～  
1型糖尿病患者が加入できる保険  
災害時のインスリン供給  
1型糖尿病の医療費の仕組み  
20歳以上の患者支援策に向けて



1冊につき1,500円のご寄付をお願いいたします。

### PART 3

#### 災害対応編

大規模災害の基礎知識  
1型糖尿病(IDDM)の基礎知識  
大規模災害時に1型糖尿病(IDDM)患者がおかれる状況  
被災したらどうする?  
～災害時の対処法～  
日頃の準備  
阪神・淡路大震災体験談(患者・医療者)  
災害が終わったあとに  
製薬企業各社のインスリン供給体制と今後の課題  
インスリンの種類  
大規模災害時用1型糖尿病(IDDM)自分マニュアル「災害時の心得帖」  
難病被災者支援の手引き～1型糖尿病[IDDM]編



1冊につき2,000円のご寄付をお願いいたします。

### PART 4

#### 先進医療編

1型糖尿病とはどのような疾患か  
1型糖尿病の中の異なるタイプ  
インスリン補充療法の基礎  
合併症  
カーボカウント  
インスリンポンプ療法  
持続血糖モニター(CGM)  
膵臓移植  
機械式人工膵島  
バイオ人工膵島  
膵臓移植  
iPS細胞による膵β細胞の誘導と分化  
iPS細胞による膵臓の再生  
ヒト膵島の創出  
1型糖尿病の遺伝子治療  
研究者と患者の新しい関係  
米国1型糖尿病研究基金(JDRF)の活動紹介  
1型糖尿病研究基金



1冊につき2,000円のご寄付をお願いいたします。

マニュアルの注文方法

■メール、郵送又はFAXにて、マニュアルの送付先と、「パート1を○部」「パート2を○部」「パート3を○部」「パート4を○部」の形で希望部数をご記入の上、下記までお申し込みください。

特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

〒840-0801 佐賀県佐賀市駅前中央1丁目8-32 イスクエアビル3F 市民活動プラザ内 レターケースNO.42

電話:0952-20-2062又は080-3549-3691 FAX:0952-20-2062 E-mail:i-net@isis.ocn.ne.jp

■ご連絡いただきましたら当マニュアルとご寄付の振り込み用紙を送付させていただきます。



# 1型糖尿病研究基金

## 趣 旨

### あなたの知らないもうひとつの糖尿病……1型糖尿病

糖尿病には二つのタイプがあることをご存知でしょうか？

一般的に知られている糖尿病は2型糖尿病のことで、ほとんどの方がご存知ないもうひとつの糖尿病が「1型糖尿病」です。

この疾患は主に自己免疫の作用によっておこり、自分の体が誤って自分自身の膵臓内のインスリン生産(分泌)細胞を破壊してしまうことで発症します。

この病気の治療は絶対的に不足しているインスリンの補充です。補充は1日3~5回の注射か小さな機械(インスリンポンプ)で送り込みます。インスリンの補充は命をつなぐために必須で、決して治すための治療ではありません。

糖尿病全体の95%以上を占め、生活習慣や遺伝による2型糖尿病とは原因も治療の考え方も異なります。

日本での年間発症率は、10万人あたり1~2名とされています。

この1型糖尿病は2型糖尿病と比較して小児期発症が多い原因不明な難病で、治療を厳密に行わないと心臓、腎臓、眼、神経等の病気が発症します。さらに、一生にわたってインスリンを補充することは、患者本人はもとより、家族にとっても精神的、経済的負担が大きなものになっています。

### 「治らない」から「治す」へ……根治療法の実現に向けて

このような現状において、特定非営利活動法人日本IDDMネットワークでは2005年8月にこの1型糖尿病根治に向けた研究開発を促進する目的で「1型糖尿病研究基金」を設立いたしました。

現在の確立されている根治療法としては「膵臓移植」がありますが、日本ではドナーの不足で数多くは実施できません。しかし最近、細胞の移植としての「膵島移植」、自らの細胞を使って膵臓の細胞・機能を再生させる「再生医療」など、根治へ向かう新しい可能性が少しずつ見えてきています。

2009年1月には当基金による初めての研究費助成を「膵島移植」と「遺伝子治療」に関するテーマに対して行いました。

今後、さらに1型糖尿病を治すことに向けて様々な治療法の開発、基礎医学の研究などが加速し、一日でも早い根治療法の確立を実現するために、関連する先進的研究に対してその研究費を助成してまいります。

つきましては、この趣旨をおくみ取りいただきまして、皆さま方からのご寄付、ご支援をたまわりますようよろしくお願い申し上げます。

## 特定非営利活動法人 日本IDDMネットワーク とは

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、被災地の患者はインスリンの入手等に変な苦勞を強いられました。この震災を契機に全国の患者・家族の連携を図るために、同年9月に発足しました。現在NPO法人として、政策提言(20歳以上の患者への支援策等)、調査研究(大規模災害時における患者の行動・支援指針の作成、1型糖尿病(IDDM)お役立ちマニュアルの作成、大学の研究への協力等)、社会啓発のためのシンポジウム開催、療育相談等に取り組んでいます。

## 寄付金の振込先等



タンブラー1個につき1,000円以上のご寄付をお願いします。



Tシャツ1枚につき2,000円以上のご寄付をお願いします。

※サイズはXS・S・M・XXLがあります。

事務局までお問い合わせください。振込用紙等を送付いたします。

### ■事務局

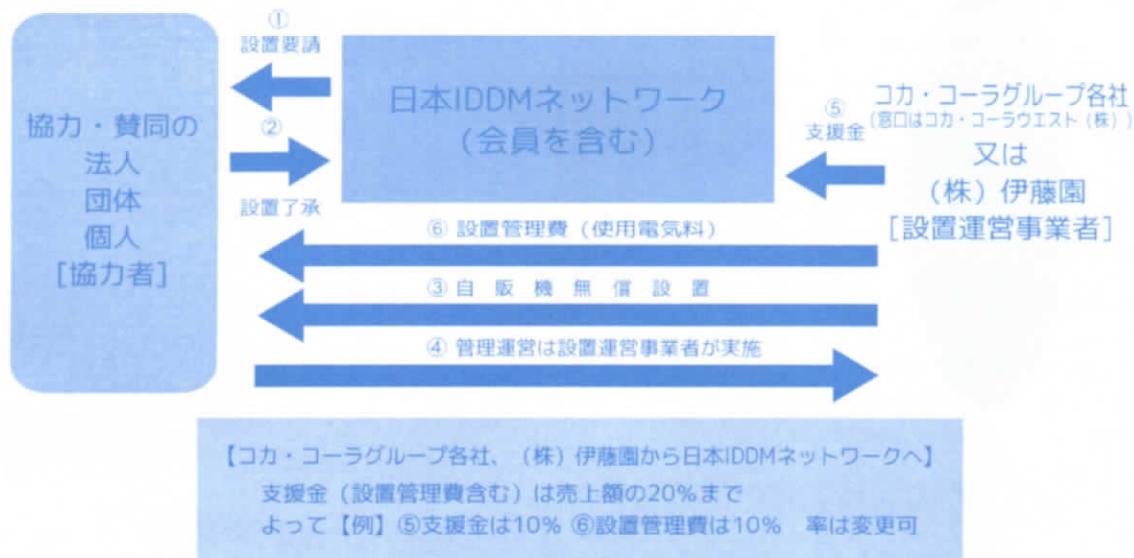
〒840-0801 佐賀県佐賀市駅前中央1丁目8番32号 iスクエアビル3F 市民活動プラザ内 レターケースNo.42  
TEL 0952-20-2062又は080-3549-3691 FAX 0952-20-2062

Eメール: [i-net@isis.ocn.ne.jp](mailto:i-net@isis.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://www5.ocn.ne.jp/~i-net/top.html>

# 難病・慢性疾患患者支援自販機の設置まで

## ①【難病・慢性疾患患者支援自販機の仕組み】



## ②【難病・慢性疾患患者支援自販機の設置場所として考えられる場所】

### 行政施設の場合

- ・庁舎ロビー出入口口付近
- ・来庁舎用喫煙所付近
- ・県有、市有、町有の中規模以上の公園
- ・職員用休憩室・喫煙所
- ・庁舎内または周辺で人の流れが常態的な場所

### 民間

- ・職場（男性割合7割以上、総数20人以上）  
※例えば、工場、配送センター、作業場等  
※中規模以上の工場ではトラック配送者喫煙所、休憩所が必ずある。
- ・レジャー施設、娯楽施設、ショッピングモール、スポーツ施設

### その他

- ・大通りと交差する裏通りに自販機が複数台ある場合、大通りに最も近い機器の売り上げが大きくなる。
- ・自販機が複数台設置されている場合、まず人の視線は左側の機器から始まる。
- ・たばこ自動販売機に隣接して設置された自販機は売り上げが高い（※タスポによるマイナス影響を受ける場合もある）

## ③【設置の段取り】

1. ご協力ご賛同いただける法人、団体、個人さま（以下「協力者」）が設置候補場所を日本IDDMネットワーク事務局（以下「日IDネット」）へ連絡する。

連絡先 TEL&FAX.0952-20-2062 E-mail i-net@isis.ocn.ne.jp

### 場所の条件

- ・約1㎡（自動販売機の大きさは設置場所のスペース・利用見込みに応じて対応）
- ・1日に約20名以上の利用が望める場所
- ・電源として15アンペア（100V）のコンセント1ヵ所が必要

※自動販売機設置に要する費用はすべてコカ・コーラグループ各社又は（株）伊藤園（以下「設置運営事業者」）で負担されます。

2. 日IDネットから設置運営事業者へ設置候補場所を連絡します。協力者と設置運営事業者とが協議の上設置の可・不可を判断します。設置可となれば支援金（売上額の20%まで）の比率を協力者及び設置運営事業者で決定します。
3. 設置後の管理
  - (1) 機器の保守、商品補充、代金・空容器回収、周辺清掃のため、設置運営事業者が設置場所を訪問されます。
  - (2) 自動販売機の設置管理費（使用電気料）は、協力者にご負担いただくことになります。※このことをふまえて支援金の比率をご検討ください。

## 難病・慢性疾患患者支援自販機ってなに？

「難病・慢性疾患患者支援自販機」は通常の自販機と商品も値段も同じ。違うのは、売り上げの一部（最大20%）が、IDDM患者と家族の支援のために提供されることです。自販機の顔をした、力強い「募金箱」です。

## IDDMってなに？ ~あなたの知らないもうひとつの糖尿病~

- ・毎日数回のインスリン注射又はポンプによる注入を生涯にわたって必要とする病気です。
- ・一見、病気のように見えませんが、インスリン注射又はポンプによる注入をしないと数日で死に至る病気です。

## なぜ募金が必要なの？

- ①発症直後の患者と家族を救いたい！
- ②医療者、研究者、企業、行政等と患者・家族をつなぎたい！
- ③一生治らない・・・1型糖尿病を治したい！

## この支援自販機を100台設置できれば・・・

- ・全国の1型糖尿病患者やその家族を支援するための充実した活動が出来ます。
- ・「1型糖尿病研究基金」を研究者に届け、1型糖尿病の根治に向けての研究を進めることができます。

## みなさんも設置場所に心当たりはありませんか？

日本IDDMネットワークでは、設置にご協力いただける場所をさがしています。例えばこんなところ・・・  
自分の住む町の公的施設（市庁舎、市民公園など）、  
レジャー施設、スポーツ施設、工場など、  
ご連絡をお待ちしています！！

設置のお問合せは  
佐賀事務局まで Tel : 0952-20-2062  
(携帯 : 080-3549-3691 江口)

## 難病・慢性疾患患者支援自販機は

自動販売機の顔をした

力強い「募金箱」

市民の皆さまが飲料水を  
購入すれば自動的に

社会貢献できる自動販売機です



この企画は、(株)伊藤園様  
及びコカ・コーラグループ各社  
のご協力により取り組んでいます。

2010年4月現在

2/100台  
【設置目標】

# 1型糖尿病患者支援 自動販売機設置

NPO法人日本IDDMネットワーク

私たちは全国の1型糖尿病を中心としたインスリン  
補充が必須な患者や家族を支援するNPO法人です。



# 大作戦!!

〒840-0801 佐賀県佐賀市駅前中央1-8-32 iスクエアビル3F市民活動プラザ内 E-mail i-net@isis.ocn.ne.jp

## 第1号を置いてくださったのはエヌワイ企画さん（佐賀県）

10年来、日本IDDMネットワークの印刷物を作成・保管してくださっているエヌワイ企画さん。社長の中村さんは私たちのよき理解者です。「何かお役に立ちたいと思っていたので、この自販機を設置しました。」  
~中村社長さま ありがとうございます~



私たちの活動の  
良き理解者



# Hot News!

あなたも安全運転で『1型糖尿病を治す活動』に参加できる!

安全運転が寄付になる  
自動車保険加入の窓口

# DOZO

www.dozo.co.jp

ドウゾ



## DOZOで自動車保険に入ると?

DOZOのサイトから自動車保険に加入すると、毎月1個のDOZOコイン(100円相当)がお客様専用のマイページでもらえます。1年間で12個もらえるDOZOコインをお好きな寄付先に配分してください。1年間無事故だった場合(保険金を使わなかった場合)、12個のコインが有効となり、ドウゾからお客さまご指定の寄付先に寄付をします。寄付金額などは、サイト上で報告していきます。万が一事故を起こしてしまった場合、お客さまのDOZOコインは無効となります。

「どうぞ、お先に」とゆとりある安全運転をして、「どうぞ、お使いください」と寄付できるしくみがDOZOです。日本IDDMネットワークも2010年3月に寄付先に加わりましたので、是非DOZOで自動車保険に加入して、その活動を応援してください。

寄付はドウゾの収益から行います。ですからそのために保険料が高くなるなど、お客さまの負担になることはありません。「どうぞ」という気持ちのこもったお金を世の中に循環させていくことがドウゾの企業目的なのです。

## 皆さんの安全運転で『1型糖尿病を治す活動』にご参加ください!

特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク  
事務局長 岩永幸三



### 『1型糖尿病を治す活動』に“参加する”ってどんなこと?

私のように役員となって活動するのも参加、イベントの時にお手伝いをするのも参加、会費を払うのも参加、寄付をするのも参加。

そしてこのたび、なんと安全運転で『1型糖尿病を治す活動』に参加する仕組みができました! この仕組みを開発されたのがドウゾさんです。1年間無事故の場合、ユニセフさんのような大きな団体と並んで当法人にも寄付ができます。DOZOコインによる寄付金は、全額『1型糖尿病研究基金』として、1型糖尿病根治に向けた研究を行っている方々へ届けます。私たちも『1型糖尿病を治す活動』に、自分が安全運転をすることを通して参加できるのです。

インターネットが苦手な私ですが、説明を受けながら保険に入ることができました(ちょっぴり自信:笑)。そして何より保険料が15,000円も安くなって驚き!

私も“お先にどうぞ(DOZO)”で安全運転します。皆さんもDOZOで自動車保険に入って、安全運転で『1型糖尿病を治す活動』に参加しませんか。



## まずはお気軽に無料でお見積りを!

DOZOで加入できる自動車保険は、チューリッヒ自動車保険です。Care(ケア)を第一の会社理念に掲げてサービスを展開しているので、補償の内容など分からないことや困ったことなどは、カスタマーケアセンターで親切に対応してくれます。また、保険料はダイレクト(インターネット、電話)ならではのリーズナブルな設定ですので、是非一度お見積りボタンから算出してみてください。個人情報などを入力しなくても、車種などがわかれば簡単に算出できますので、お気軽にどうぞ! リーズナブルな保険料設定に加え、インターネットでのお申し込みだとお得なインターネット割引(最大7000円の割引)もあります。電話で相談しながらパソコンの画面を見て入力していくことも可能で、その場合でもインターネット割引が適用されます。インターネット環境をお持ちでない方は、お電話でのお見積り、契約も可能です。



CAREFUL DRIVING  
FOR TWO  
\*TWO:自分も保護したい  
妻のための



### ドウゾ代表 棚田より

今までの自動車保険は、万が一の時に備えるというネガティブなことを想定したものでした。DOZOで保険に入ると、保険本来の目的の“備える”という安心を確保しつつ、無事故だったら「誰かの役にたつ」とか「誰かの応援になる」など嬉しい想定ができて、安全運転が楽しくなると思います。「どうぞ、お先に」とか「どうぞ、お使いください」とか、譲ったり差し出したり…一見自分から何か減ってばかりのように感じるかもしれませんが、寄付先からの「ありがとう」という気持ちや、そこで活動されている方々の前向きに挑戦するパワーや勇気など、きっと目には見えないたくさんのもをもらえると思うのです。

DOZOについての詳細は、ホームページをご覧ください

<http://www.dozo.co.jp>